

令和6年度 入学式 式辞

沖縄県立宜野座高等学校

校長 山田 義二

新緑が芽生え、春の息吹が感じられる今日の佳き日に、ご来賓並びに保護者の皆様のご臨席の下、令和6年度の入学式が挙行できることを関係者一同、心より感謝申し上げます。ただいま入学を許可された60名の皆さん、入学おめでとうございます。在校生及び職員一同、皆さんの入学を心より歓迎いたします。

皆さんは、おそらく人生で初めての試練であった高校入試を乗り越え、達成感を味わっていることと思います。このことは、皆さん一人ひとりの努力の成果ではありますが、それを支えてくれた先生方やご家族等、多くの方々の温かい支えがあったことも忘れてないで下さい。

さて、世の中はグローバル化や人工知能（AI）などの技術革新が進み、予測困難な時代と言われています。そのような中、我々には伝統や文化に立脚し、高い志や意欲を持つ自立した人間として、他者と協働しながら未来を切り開いていく力が求められています。そこで皆さんには、主体的に問題や課題を発見し、自ら学び、自ら考え、自ら決断して実行する力「自己指導力」を獲得してほしいと考えています。「何がしたいのか」「何をすべきなのか」を本校での学びを通して主体的に考えてもらいたいと思います。学校としても皆さん一人ひとりの可能性を最大限に伸ばす教育活動ができるよう取り組んでいきます。皆さんは、勉強や部活動、資格取得に積極的にチャレンジし、夢中になるものを見つけ、充実した高校生活を過ごし、将来の「進路夢実現」に向けて邁進して下さい。

本校は、昭和21年に創設され、「学習は専心を尚（たつと）ぶ」「運動は快心を尚ぶ」「交友は純心を尚ぶ」の3つの校訓の下、令和6年度で創立79周年になります。東に太平洋を、西にはガラマン山系を望む風光明媚で豊かな自然に囲まれた環境の中で文武両道を理念とした教育活動を展開し、これまで多くの優秀な人材を輩出してまいりました。新入生の皆さんも先輩方に負けないよう、宜野座高校生としての誇りと自覚を持ち、歴史と伝統を受け継ぎ、母校のさらなる発展に貢献してくれることを期待します。

保護者の皆様、本日はお子様のご入学にあらためてお祝いを申し上げます。高等学校の3年間は、少年期から青年期へと成長し、変化が著しい時期です。親子間の距離感を感じられる時もあると思います。お子様の成長を、時には温かく、時には毅然とした態度で見守って下さい。

結びに、これまで諸先輩たちが築いてきた伝統を新入生の皆さんが更に継承し、一人ひとりが飛躍していくことを期待します。ご父母、そして、ご家族の皆さん、入学されたお子様の将来がますます輝けるように、共に歩んで行きましょう。

令和6年4月8日